

「多国籍化とHRD」

上智大学経済学部 助教授

細 萱 伸 子

本報告では、多国籍企業のアジア統括会社による、域内の子会社を対象とした人材育成支援活動に関する事例研究の結果から、その実態と影響要因について検討し、地域統括会社の果たす機能として先行研究で明らかにされている、域内子会社間の情報交流支援が人材育成をめぐっても行われている様子とそのメカニズムを紹介した。さらに、今後同様の事例研究を蓄積する際に重要となる理論研究上の課題を提示した。理論上の課題としては、日本型 HRM の海外移転と現地慣行の関連の点から組織同型化の理論、海外子会社の経営戦略との関連で戦略的人的資源管理論を紹介した。今後の研究の課題として、これらの理論を援用しながら、世界的製品事業部制のもとでの「緩やかな地域統括」の特性と人材育成支援実態の関係、さらにはその HRM 制度への影響の関係を検討していくことを確認した。